

もっと知ってほしい、デイケアだからできること。

ほほえみ通信+

hohoemi



vol.23

Oct. 2024

西宮協立デイケアセンター ほほえみ
西宮市津門呉羽町10-13
TEL:0798-36-6780 FAX:0798-36-6766

西宮協立デイケアセンター 第2ほほえみ
西宮市津門呉羽町9-10 1F
TEL:0798-33-3501 FAX:0798-33-3502

令和6年度 介護報酬改定

リハビリテーションマネジメント加算(ハ)・一体的サービス提供加算

リハ・口腔・栄養の一体的な取り組み

令和6年度介護報酬改定にて、これまでよりも効果的に自立支援重度化予防につなげるため、多職種で連携する「リハビリテーション・口腔・栄養の一体的な取り組み」が新たに加算として新設されました。今回は、「リハビリテーション・口腔・栄養の一体的な取り組み」がなぜ重要視されているのかをご紹介します。

単位数

- 介護** リハビリマネジメント加算(ハ)
- 6ヶ月以内……793単位/月
 - 6ヶ月以降……473単位/月
- 支援** 一体的サービス提供加算
……480単位/月

期待できること

- 活動量に応じた適切な栄養摂取量の調整
- 低栄養の予防・改善
- 経口摂取の維持

リハビリテーション・機能訓練



期待できること

- 摂食嚥下機能の維持・改善
- 口腔衛生や全身管理による誤嚥性肺炎の予防

連携

栄養



口腔



- 適切な食事形態・摂取方法の提供
- 食事摂取量の維持・改善
- 経口摂取の維持

期待できること

ほほえみでは多職種が連携しながら支援を行っています // // // //

多職種が連携することにより、自立支援や重度化予防につながるより効果的なケアを提供できると期待されています。西宮協立デイケアセンターほほえみ・第2ほほえみでは、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士が在籍しており、多職種が連携しながら支援を行っています。

実施事例

「リハ・口腔・栄養」が一体的に連携して取り組むことで、ADL・IADL・QOLの改善へ早期につながった。

基本情報

年齢 84歳

介護度 要介護2

状況 腰椎圧迫骨折にて入院し、コルセット装着のまま退院した

アセスメント

リハ

筋力低下があり、腰痛も強い。長時間の立位保持が難しく、車椅子を使用。トイレの介助も必要。

×

栄養

体重が入院前と比較し9kg減。血液検査アルブミン値3.7。浮腫があり。

×

口腔

痩せて義歯が合わず、食べる時に痛みがある。



アプローチ

リハビリテーション・機能訓練

- 自宅でも取り組める筋力強化運動の指導
- 自宅内に手すりを設置し、安全に移動ができるよう環境調整
- 立位・歩行練習



栄養

- 体重・食事・水分摂取量などを経過観察
- 1日の水分量の目安と水分の取り方の工夫をアドバイス



口腔

- 歯科受診を勧めた
- 義歯調整の間、食べやすい工夫として、食形態を一口大へ変更



結果

【3ヶ月後】

義歯が完成し、痛みもなくなったことで、食事量も増加。体重も入院前の数値まで回復した。筋力が向上し、腰痛が軽減、屋内杖歩行ができるようになった。



【約半年後】

歩行器を使用し、妻の見守りのもと、屋外で散歩ができるようになった。



【BMI・ADL・IADL数値の推移】

